



あ・ら・か・る・と

今回ご紹介するのは、『私の趣味 DIY』の 井戸 敏幸 さんです。

会社を60才で定年退職後、約8年間、色んな仕事をして来ましたが、印象に残っているのが遺跡関係の仕事と自分の元々の趣味でもある木工所の仕事です。

ライフワークはDIYです。それが高じて約5年前から近くの布引小学校の修理屋さんのボランティア活動をさせて貰っています。ドアの修理・調整、机や椅子の修理。本棚、踏み台。スロープの制作。太鼓のスタンドの制作、堆肥場の製作等、今も2か月に一件位の割合で依頼があります。材料は、ほとんど産業廃棄物です。

今回、課題学習の「花づくりグループ」から花壇の柵の作成依頼があり、12月20日に完成した12柵をお渡ししました。



・井戸さんから「花づくりグループ」リーダーの奥谷さんへ

★布引小学校からの依頼の製作品です。

- ・昨日 12 月 20 日学校に渡しました
電動草刈機の小石の飛散防止ネット。



・ 3 年前に作成した堆肥場です。

★5 年前に体育館の入り口にスロープを設置しました。



◆レイカディア大学に入学した動機は？

レイカディア大入学のきっかけですが、2020 年 2 月初めに大津の歴史博物館でレイカディア大学公開講座を受講した事です。ネットで軽い気持ちでレイカディア大学を検索したら公開講座の参加募集の案内を見つけました。公開講座の当日は、午前、大津歴史博物館で講義。午後は京阪電車で坂本迄移動し西教寺、穴太を散策するウォーキングでした。本当に楽しかったので、はっきりと覚えています。あとの事は記憶が曖昧です。何しろ 4 年前の事ですから。

結局その年はコロナで募集は中止になりました。次の年は、募集はしていましたが、私は(コロナを)警戒して 2022 年に入学しました。

約 10 年前、職場の上司から、レイカディア大学は、いいよ 楽しいよ 一緒に行こうと、本当にしつこく誘われていましたが、全然興味もなくてスルーしていました。

コロナが落ち着いたし、果樹・野菜作りを真剣に考えるようになってきて、本格的に勉強しようと思って入学する事にしました。その先輩は、10 年前に草津キャンパス 36 期園芸学科に入学されました。今では先輩に感謝しています。

★レイカディア大学に入学してから、依頼されて製作した作品の一例です。



4本足付きの木製プランター

◆実際入学したレイカディア大学の感想は？

果樹や野菜作りを真剣に考えるようになり、ちょっとでも良い野菜を作りたいと思いからしっかり授業を聞くようになりました。今までなら何も考えなかったし、上手く、出来なかって、いいやという考えでしたが、今では実際よくなりました。

例えばタマネギ。毎年ベト病になりまともなものができませんでした。今は先生の授業を聞いたり自分でもいろいろな本を見たりネットで調べたりしました。農薬は好きではないのですが、今年、ベト病の薬を散布したら全然ベト病が発生しませんでした。

さつまいもはレイカディア大学の実習圃場では栽培されませんでした。毎年害虫被害を受けました。今年は、自分で本などで勉強して栽培したら大豊作。見栄えもよく、糖度も上がりとても美味しいさつまいもが収穫できました。自分で勉強する姿勢が身に付きました。

また、地域学習や野菜作りの管理班や課題学習でいろんな人との繋がりができました。はっきり申し上げると、勉強より友達作り、これが一番ですよ。

★今年の9月6日のホームページに掲載参照願います。

秋の家庭菜園 種まき、植え付け(畑実習)で、井戸さんが製作した『溝つけ君』。筋蒔きがしやすいように、簡単に溝ができます。私たちや後輩の園芸学科の学生が使えるようにと3つも製作してくださいました。

この道具は、レイカディア大学に贈られ、末永く使っていただけたと思います。



◆あと9か月。卒業後の予定、希望は？

卒業して終わってしまうのでなく、園芸学科の皆さんと、ずっと友達付き合いを続けていきたいと思っています。



・自宅の作業場の風景です。

・井戸さん宅の畑です。「草一本もありませんね。」と言ったら、「これは性分やね。」と答えが返ってきました。畑は人柄を映し出すのかなあー



(T.O)